

令和3年度 事業計画

基本方針

新型コロナウイルス感染拡大により、国内外における人の移動が制限され、観光業界は大きな打撃を受けました。現在、県、町においても例年と同じような観光事業やイベントを開催するのは困難な状況となっています。今後の感染動向によっては景気への先行きがまだまだ不透明な部分が残されていると思われまます。

そのような中、新型コロナワクチンの接種が3月から順次開始されました。7月の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けた準備も進められています。今後、ワクチン接種が進み集団免疫確保が期待できるとなれば、国内の人の動きは活発になり、更には「GO TO キャンペーン事業」等、国や各自治体、観光業界の施策により観光客の誘客も見込まれ、経済の持ち直しが期待されます。今後、ウィズコロナ・アフターコロナにより観光業の形は移動や滞在方法を中心に大きく変わっていくと思われまますが、必ず良くなって行くと考えています。

観光協会は、『げんきな高島イベント実行委員会』と連携し、昨年新たな事業として「イルミネーション事業」「サイクリング事業」等のイベントを実施した所、町内外からの多くのお客様にご来場いただきました。今年も屋外イベントを中心に各団体と協力体制を密にしながら魅力ある事業に取り組んでまいります。

町の観光施設においては、指定管理業務を受託しているコミュニティ施設「高島町太陽館」と「道の駅たかはた」、管理運営受託施設である上和田有機農業の地の「ゆうきの里さんさん」を観光の拠点施設と位置づけ、魅力ある施設づくりに取り組んでいきます。各施設については日常の管理を徹底し維持管理修繕に努めるとともに、職員の更なる研鑽・コミュニケーションの充実を図り、皆様が気持ちよく利用できる体制を維持し、利用される方に満足していただける施設づくりに努めてまいります。

「まほろばの里たかはた」は自然の豊かさと食に関する6次産業では県内でも類を見ないところでもあります。これらを生かし地域の農業・商工業・サービス業をはじめ教育機関、地域住民、置賜3市5町と広く連携し、地域の総合力を発揮しながら魅力ある高島をアピールしていきたいと考えまます。

1. 令和3年度重点事業

(1) 『住んでよし、訪れてよし』の町づくりの推進

高島の地域資源を活かした、高島ならではの魅力づくりを目指し、町民の誇りと来訪者の親しみが融合した町づくりを促していきます。

また、美しいふるさと高島町づくりを一層進めるため、「たかはた風景街道」と題した事業を新たに立ち上げ、町内各地域における観光地整備事業を実施するとともに、来訪者に感動を与え、多くの方々が拡散したくなるビューポイントの整備と情報提供、「町民のおもてなしの心」の醸成ならびに観光客受入態勢のレベルアップを目指していきます。

(2) 東北中央自動車道を活かした受入態勢の推進

東北中央自動車道（南陽高島IC—山形上山IC）が開通し交通アクセスが向上したことにより、高島町は、大都市圏からの観光客が訪問しやすい環境になってまいりました。

今後、より身近で親しみがあり、魅力ある観光地となるために、現在進められている高島スマートIC（仮称）整備とあわせた、観光資源の醸成と広報宣伝をしていきます。

(3) 東北デスティネーションキャンペーン実施に向けての態勢整備

東北6県の観光事業者等が、JRグループと連携して令和3年4月1日～9月30日に実施する観光キャンペーン「東北デスティネーションキャンペーン」の成功に向けて、受入態勢の整備を図っていきます。

(4) サイクルツーリズムの推進

ツール・ド・みちのくおとぎ街道「グル麺ライド」、「駅からサイクリング」等のイベントや、まほろばの緑道を起点とし、自転車で町内を散策されるサイクリング愛好者の需要に対応し、サイクリングラック設置をはじめとする受入態勢の整備等を実施し、「サイクリングの町たかはた」を確立すべくサイクルツーリズムを推進して行きます。

(5) JRホテル・フォルクローロ高島と連携した誘客活動の推進

JRホテル・フォルクローロ高島と連携し、県外客への情報発信を進めるとともに高島町への誘客を図り滞在型観光の誘客を目指します。

(6) まほろば冬咲きぼたんまつりを契機とした花見イベント事業の推進

まほろば冬咲きぼたんまつりの牡丹、たかはた冬らんまんまつりの啓翁桜など、冬のお花見イベントが注目され、SNSによる画像投稿への反響が年々増加してきているため、さらに誘客につながり魅力ある事業になるよう実行委員会とも連携し事業を進めて行きます。

また、まほろば冬咲きぼたんまつりで使用した牡丹を植栽した牡丹園が充実し、誘客に活用できる施設となってきたため、春のぼたん園を活用した誘客活動を進めます。

(7) グリーンツーリズム、観光農業（体験農業等）、教育旅行受入態勢の確立

高島町教育旅行受入協議会を設立し、県教育旅行誘致委員会と連携しながら、農業体験や食に関する知識、人や家族、地域とのふれあい体験を町の強みとしながら、千葉県八千代市立大和田中学校をはじめとする体験学習旅行や小中高生教育旅行の誘致活動を展開し、町全体での教育旅行受入態勢の確立を目指します。

(8) 犬猫安らぎの郷構想プロジェクトの推進

近年の世界的なペットブームによりペットと人間が共生できる町づくりが求められてきている中、全国的にも珍しい「犬の宮」「猫の宮」、直木賞受賞作品「高安犬物語」そして絶滅した高安犬発祥の地など数多くのペット素材が存在する高島町において、この貴重な資源を活用し観光発展、地域活性化を実現させるため推進してきた「犬猫安らぎの郷構想」については、持続可能な事業内容を模索しながら事業を進め実現化を目指します。

(9) 特色ある着地型旅行企画の開発および海外プロモーション事業の推進

特色ある着地型体験観光メニューの開発に併せ、外国人旅行者に対する誘客宣伝を活発にし、国内個人旅行はもとより、団体旅行、そして交流人口の増加による地域の産業経済の活性化に努めます。

(10) 観光キャンペーン活動の推進による、魅力ある観光情報発信の強化

JR仙台駅たかはたフェアをはじめとする観光キャンペーン事業を積極的に開催・共催し、高島町の観光資源や食べ物、そして“たかはたブランド”商品をはじめとする物産等の魅力を全国に発信します。

2. 継続的な取り組み

(1) 「高畠らしい魅力ある受け入れ態勢の整備

- ①新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式に対応した観光の提案
 - ・スマートフォンを活用した「たかはた風景街道スマホスタンプラリー」事業
 - ・高畠町内8,000歩歩いて周遊を促す「観光で健康！ たかはたFun Fun Walk」（ファン・ファン・ウォーク）事業
- ②全町民「観光ガイド」運動の啓蒙推進
- ③広介童話の心を柱とした受入態勢の整備
- ④『まほろばの里』らしい食文化発展事業の推進と、たかはたブランド推進への協力
- ⑤文化財資源の保護と伝統行事の伝承と育成
- ⑥観光地の環境整備運動と観光案内看板等の整備促進、「まほろばの里」らしい自然の保全

(2) 誘客宣伝活動

- ①総合観光インフォメーション機能づくりとインターネットを活用した情報発信事業
公式ホームページに併せ、Facebook、Twitter、InstagramなどのSNSを積極的に活用し、高畠町の旬な情報の発信を推進します。
また、ニーズの多い観光情報（トイレ、駐車場、観光地、飲食、買物、イベント、無料Wi-Fi）を提供できる総合観光インフォメーション機能を構築し、観光客の利便性を図ります。
- ②多様化する観光ニーズに対応する観光モデルコースの発信
気軽なサイクリングを提案する「まほろばサイクリング旅」、美味しいものを食べ歩く「パワースポット&グルメぐり」、ぶどう狩りやそば打ち、紅花染め等を体験する「夏の体験ざんまい」、旧高畠駅や瓜割石庭公園を巡る「たかはたレトロめぐり」など、高畠町でしか体験できない観光素材を組み合わせ、多様化する観光ニーズに対応する観光モデルコースを発信します。
- ③高畠らしいビュースポットの提案と新たなビュースポットの開拓
Instagramを活用した「たかはた風景街道フォトコン」事業を通し、旧高畠駅や瓜割石庭公園など高畠ならではの風景を四季折々に発信するとともに、フォトコン参加者の新たな視点によるビュースポットを開拓し、さらなる観光誘客に生かします。
- ④仙台市、首都圏、そして高畠町と友好交流都市である横浜市栄区での観光誘客宣伝と物産販売のタイアップキャンペーンを関係団体と連携し実施します。
- ⑤国の有形登録文化財に指定された旧高畠駅舎をはじめとする文化遺産の利活用や整備促進の検討並びにまほろばの緑道・まほろば古の里歴史公園等の名所旧跡における観光の活性化に向けた事業を行います。
- ⑥旅行エージェント訪問、各種誘客イベントへの参加による誘客活動の実施
首都圏、仙台、新潟エリアからの誘客を促進するため、街なか歩きや体験観光等の企画に併せ、高畠オリジナルの旅行商品造成し、誘客に努めます。
- ⑦観光コンベンション事業の強化
従来の観光客だけではなく、会議やセミナー・講座等の来訪者を受け入れるコンベンション事業を、農業や商工業等の他産業と連携しながら総合的に強化推進します。
- ⑧フィルムコミッション事業の強化

フィルムコミッション事業を実践しロケ地誘致活動を推し進めるとともに、すでに映像化された町内ロケ地情報を発信し、ロケ地巡り等の誘客につなげます。

(3) 広域観光

- ①国道113号線観光推進協議会と連携した、おとぎ街道事業、伊達家ゆかりの地関連地域との広域観光事業を推進します。
- ②やまがた花回廊キャンペーン、冬のあった回廊事業実施における各種誘客活動を実践します。
- ③伊達家・織田家ゆかりの町としての戦国観光を推進し、伊達政宗にちなんだ事業を通しながら高島町内への誘客拡大、歴史文化の交流拡大を推進するとともに、地域特性を活かした広域提携商品づくりをします。

(4) 各種団体との連携

- ①(公社)山形県観光物産協会・やまがた観光キャンペーン推進協議会・国道113号観光推進協議会・県南観光推進協議会・山形おきたま観光協議会等関係団体等との連携
- ②高島町総合観光推進協議会事業との連携
- ③高島町物産協議会との連携強化
- ④浜田広介記念館・まほろば古の里歴史公園施設等、町内文化関係施設との連携強化
- ⑤「まほろばの里案内人」(観光ガイド)の充実と案内活動の実践
- ⑥たかはた農山村体験交流ネットワーク(教育旅行の受入)との連携
- ⑦JR各種事業への連携と協力

(5) 組織の強化と会員拡大

- ①事業拡大に伴う協会組織拡充の検討
- ②「感謝のつどい」の実施
- ③観光協会だよりの充実
- ④新会員拡大運動の展開

(6) 委員会活動

観光事業の総合的・普遍的運営とその責任方式を確立し、当協会の事業目的達成と円滑な推進を期すため委員会を設置し、協会事業の活性化を図ります。

総務委員会

- ①会員拡大事業
 - 〇観光協会事業の啓発を継続実施し、理解のもと協力をいただける会員の拡大を図ります。
- ②感謝のつどいの開催
 - 〇会員各位への感謝と協会組織強化のため感謝のつどいを開催します。
- ③観光協会だよりの発行
 - 〇事業の周知や情報発信のため観光協会だよりを発行します。
- ④理事研修の実施
 - 〇観光協会組織強化のため理事研修を実施します。

観光振興委員会

- ①経済効果を図るために宿泊を伴う体験型、滞在型観光事業の模索

- ②観光資源を活かした観光振興地域活性化事業
 - 〇高畠町と協力し観光資源の情報発信を行います。
 - 〇たかはた風景街道事業を実施します。
 - 〇高畠町のライトアップ事業と協力体制を築きます。
- ③史遺跡、地域の地元組織と連携を図った美化活動。
- ④町内観光資源の付加価値を模索した永続的な誘客につながる仕組み作り
- ⑤その他
 - 〇まほろば冬咲きぼたんまつりにおける企画等を行います。
 - 〇観光振興事業への、観光協会会員の参画を仰ぐ仕組み作りを行います。

施設管理委員会

- ①高畠町太陽館について
 - 〇施設の老朽化に伴う危険箇所を確認し、修繕の必要箇所等随時施設の整備申請を続けます。
 - 〇太陽館売店の販売促進を図ります。
 - 〇休憩室の利用活性化を検討します。
 - 〇高畠町のコミュニティ施設としての魅力あるイベントを行います。
- ②道の駅たかはたについて
 - 〇施設の老朽化に伴う危険箇所を確認し、修繕の必要箇所等随時施設の整備申請を続けます。
 - 〇環境を活かした道の駅づくりを目指します。
 - 〇羽山⇄安久津の遊歩道について町との連携を図ります。
- ③ゆうきの里さんさんについて
 - 〇農村地域環境を活かした施設づくりを目指します。
 - 〇施設の老朽化に伴う危険箇所を確認し、修繕の必要箇所等随時施設の整備申請を続けます。
 - 〇地域と連携した農業・農産物加工体験の充実を図ります。
 - 〇観光と連動した宿泊プランの創出を行います。

(7) 観光イベント事業

- | | |
|---------------------------|-----------|
| ①第34回全国ペット供養祭 | 7月24日 |
| ②ほろ酔いちょうちんまつり | 8月6日(予定) |
| ③第21回まほろば冬咲きぼたんまつり | 2月10日～13日 |
| ④共催、協賛事業 | |
| ・駅からハイキング | 4月～5月 |
| ・第56回たかはた夏まつり(青竹ちょうちんまつり) | 8月15日～16日 |
| ・まほろばの里たかはた「JR仙台駅物産展」 | 10月中旬(予定) |
| ・グル麺ライド | 9月下旬(予定) |
| ・第38回たかはた冬まつり | 1月～2月 |

3. 指定管理並びに管理受託施設事業計画

(1) 高畠町太陽館

- ①温泉部門
 - 〇随時施設の確認・管理を続けます。特に、老朽化による危険箇所・修繕箇所に注意を払いお客様がより利用しやすい施設とします。

- 〇 高島町のコミュニティ施設として休憩室利用を含めた、魅力あるイベントを実施するとともに、地域、関係団体との連携による活気ある「駅」づくりを目指します。

- ・風呂の日の実施（毎月26日）
- ・入浴ポイントカード事業の継続
- ・年間イベントの実施、チラシ作成等によるイベントのPR

5月	2日～5日	太陽館温泉まつり
8月	6日（予定）	夏の夜まつり（ビアガーデン）・ほろ酔いちょうちんまつり
10月	9日～10日（予定）	秋のふるさとまつり“太陽館まつり”
1月	1日～3日	お正月イベント
2月	10日～13日	まほろば冬咲きぼたんまつり

②売店部門

- 〇 高島町のお土産品の情報発信施設としての充実を図ります。
- 〇 駅乗降客のニーズに応えられる商品構成の充実を図ります。
- 〇 夏冬ギフト「美味玉手箱」の充実に伴せ、通年販売できるギフト販売を企画し実施します。
- 〇 活気ある売店づくりのため、農産物納入品等による月1回のお得市を行います。

③食堂部門

- 〇 食堂経営者（株式会社りんご苑・ホテル フォルクローロ高島・（一社）高島町観光協会）が一体となった経営努力をします。

④付帯施設利用者の拡大事業

- 〇 イベントステージの屋根設置に伴うコンサートやイベントを開催します。
- 〇 テニスコートやゲートボール場の利用者拡大対策と老朽施設の再点検を行います。
- 〇 ぼたん園の管理を進めながら、春ぼたんの開花に合わせた誘客活動を強化します。

(2) 道の駅たかはた

(高島町総合観光案内施設・高島ふるさと自然のみちウォーキングセンター)

①道の駅たかはた部門

- 〇 道の駅を管轄する国、県の行政機関、全国・東北・県の道の駅連絡会、駅長会等と連携を図り道の駅の活性化に努めます。
 - ・緊急時受入体制の強化として町、エイコウとの災害緊急協定締結を目指します。
 - ・道の駅に関係する各団体との運営委員会を実施し、高島町を中心とした広域観光、周遊観光の推進をすすめるとともに、誘客、広域告知に努めます。
 - ・四季を通じ状況に即した営業時間の設定
- 〇 売店・食堂部門の売上の増加を図ります。
 - ・よねおりかんこうセンターとの連携強化
 - ・山形県道の駅駅長会事業の専用商品の追加補充(第3弾)推進
 - ・置賜駅長会施策「イベント時の共有出店」への積極的対応
 - ・道の駅関連団体の農産市に積極的に参加し、町内産物の販売・PRを実施していきます。
 - ・農産物直売会「まほろば大地の会」との協力態勢の強化
 - ・地産地消を推進し飲食メニューの拡充
- 〇 まほろば大地の会と連携した年間イベントを実施します。

6月中旬	さくらんぼフェア
8月	おかえりなさいふるさとフェア

9月連休時 高島町グリーン・ツーリズムネットワーク共同農産市・ブドウ市
10月 秋の収穫祭

○ 町内で誘客活動している各団体へ働きかけ新たな集客施策を検討して参ります。

②高島町総合観光案内施設部門

- 道の駅各部門担当者の意識を更に高め誘客誘導の推進を図ります。
- 窓口での対面観光案内の充実を図ると共にインターネット等による情報発信を行います。
- 町内店舗への顧客の流入を促進します。
- 高島町の総合観光案内施設として魅力あるイベントを実施します。

1月1日～1月3日 お正月「初詣ふるまい」

8月 カブトムシ相撲大会

7月～2月 展示団体、他との連携による体験教室の実施

- 年間を通し、町民の多岐にわたる優れた作品の展示会を開催します。
- 季節や伝統文化に合わせた館内装飾を施し来館者の再訪問を促します。

③高島町ふるさと自然のみちウォーキングセンター部門

- 町内各種団体との連携により町民ウォーキングの普及を図ります。
- 周囲景観を生かした独自のウォーキングコースの利用を促進します。
- 町外のウォーキング愛好者へ向けてコース案内を推進し利用促進と有効活用を図ります。

(3) ゆうきの里さんさん

(和田民俗資料館、高島町交流促進施設及び高島町農産物加工体験交流施設)

平成27年度より管理運営業務を受託した「ゆうきの里さんさん」関連施設を滞在型観光の拠点に位置づけ、グリーンツーリズムや滞在型観光の確立に向けて各種事業を展開します。

①高島町交流促進施設

- ログハウス風コテージ3棟（標準型2棟、バリアフリー型1棟）を有効に活用し、高島町滞在観光の拠点施設となるよう、町外・県外に向けたPR活動を行います。また、施設の維持管理修繕に努め、建物・サービス共に利用者の満足度の高い施設にして行きます。

②高島町和田民俗資料館

- 伝統家屋を改修した研修・集会施設「楽集館」をグリーンツーリズムならびに観光農業（体験農業等）の拠点として活用していくと共に、催事・団らの場としての活用についてもPRして行きます。

③高島町農産物加工体験交流施設

- 地場農産物を活用し、そば打ち、味噌づくりなど地域特産の農産物加工体験を行い、高島町のグリーンツーリズムをPR・推進して行きます。

④施設周知、利用者増加のためのイベントの実施

- 10月23日 ゆうきの里さんさんまつりを実施します。

(4) 町公式マスコットキャラクターPR活動業務

本町の魅力をPRするためのシンボルとして制作された高島町公式マスコットキャラクター「たかつき」「はたつき」を活用し、イベント等を通し町の観光、物産の振興に努めます。

